



## ユニットC「エンプロイアビリティ研究」

テーマ：

高等教育におけるエンプロイアビリティ  
(就業力)育成システム

大森 渡邊  
江川 北村 松葉



## 高等教育におけるエンプロイアビリティ (就業力)育成システム

- ① 海外や国内の高等教育におけるエンプロイアビリティ(就業力)育成の現状調査と課題提起
- ② 高等教育におけるエンプロイアビリティ(就業力)育成のためのソリューションの提案と実践
- ③ 高等教育におけるエンプロイアビリティ(就業力)育成のためのツールやシステムの開発と運用



- ・ 竹岡<前期課程修了>ほか(2-D-9・2-D-12) :  
社会人を対象とした大学院修士課程における教育方法として、**ストーリー中心型カリキュラム**を導入し、学習者やストーリーを自分の文脈へ社会経験をもとに活用できるようにしており、**社会人としてすぐに活かせる具体的な実践方法を修得**させるカリキュラムを開発
- ・ 野田<前期課程修了、後期課程在学中>ほか(2-D-56) :  
初等中等学校教員歴3年未満の者を対象とした研修の質の向上を旨とし、研修のPDCAサイクルの確立を目的として、**eポートフォリオシステムを活用した「教育研究・研修システム」**を導入し、その効果を検証



- ・ 上田<前期課程修了>ほか(2-D-40) :  
エンプロイアビリティの基礎となる汎用的能力育成のための**PBLとその学習評価手法**の特徴
- ・ 桑原<後期課程在学中>ほか(2-D-8・2-D-27) :  
自分の**キャリア開発を初年次教育**に埋め込み、職業ビジョンの明確化を行うことの効果
- ・ 谷塚<後期課程在学中>ほか(2-D-31) :  
教職志望学生の成長のためにはどのような経験をしていくとよいかの分析枠組みを検討し、**教員養成カリキュラム改善の提言**



- ・ 大森(1-A-22) :  
日本の大学の問題点を指摘し、グローバル改革を3つ提案
- ・ 大森(1-A-14・1-B-15) :  
英国を中心に、国際比較(グローバルスタンダード)の上に乗って、日本の現状と課題を分析
- ・ 大森科研(1-F-8) :  
英国やフィンランドでの事例調査を行うことと合わせて、国内の企業の人事研修担当者のインタビューを行って、高等教育に求められているエンプロイアビリティ(就業力)を規定
- ・ 大森(1-A-20) :  
汎用的なスキルの重要性(批判的思考力、問題解決力、情報収集力)から、リーダーシップ、コミュニケーション、対人関係スキルの育成を求められていることを同定